

**「第6期北九州市障害福祉計画」**  
**「第2期北九州市障害児福祉計画」**

**令和3年度**  
**主な成果目標ごとの取り組み実績**

# 目次

成果目標(3)地域生活支援拠点等が有する機能の充実	…P1 【点字資料…P30】
成果目標(4)福祉施設から一般就労への移行等	…P2 【点字資料…P31】
成果目標(5)障害のある子どもに対する支援の 提供体制の整備等	…P4 【点字資料…P34】
成果目標(8)発達障害のある人等に対する支援の 充実・強化	…P6 【点字資料…P36】

## 成果目標（3）地域生活支援拠点等が有する機能の充実

地域生活拠点等について、令和5年度末までに1箇所以上を維持しつつ、その運用状況を検証、検討するための会議を年1回以上開催することを目標とする。

（実施状況）

- ・ 検討会を5回開催するとともに、「緊急時の受入れ・対応」、「地域の体制づくり」を整備し、短期入所事業所の空床確保、障害者基幹相談支援センターにコーディネーターを配置
- ・ 今後、「緊急時必要なコーディネートや相談等の支援」、「体験の機会・場の提供」、「専門的人材の確保・養成」を担う事業所を市が認定することにより、一つのネットワークを形成し、モデル的に運用を開始していく。

## 成果目標(4)福祉施設から一般就労への移行支援

### ア 就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者数

令和5年度中に就労移行支援事業を通じて、一般就労に移行する者の数を、令和元年度の一般就労への移行実績(229人)の1.11倍(255人以上)とする。

(実施状況)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実績 (令和元年度比)	229人 (ー)	206人 (▲23人)	254人 (+25人)

障害者しごとサポートセンターの機能強化とともに、就労移行支援事業の利用者を対象とした職場見学会、ハローワークや福岡県との共催による面談会やセミナーなど行った。

## イ 就労定着支援による職場定着率

令和5年度末における就労移行支援事業を通じて一般就労に移行するひとのうち、**就労定着支援事業の利用者数を増加**させるとともに、就労支援事業による支援を開始した時点から1年後の**職場定着率を8割以上の事業所を全体の8割以上**とすることを目標とする。

(実施状況)

就労定着支援事業の利用者数	一般就労に移行した人のうち、就労定着支援事業の利用者数割合は33.8%となっており、令和元年度の実績27.9%から <u>5.9%増加</u> している。
職場定着率	就労定着支援事業による支援を開始した時点から1年後の <b>職場定着率が8割を超えている事業所は全体の7割を超えている</b> 。

## 成果目標(5)障害のある子どもに対する支援の提供体制の整備等

イ 聴覚障害のある子どもに対する支援のための中核機能を果たす体制の確保について

聴覚障害のある子どもに対する支援の中核機能を整備し、保健・医療・教育等、関係機関と連携しながら、聴覚障害のある子ども及びその保護者に対して切れ目のない支援を行うことを目標とする

(実施状況)

聴覚障害児支援協議会を開催し、関係者で意見交換を行うとともに、総合療育センターの言語聴覚士が、定期的に児童発達支援センターや特別支援学級を訪問して技術支援をするなどの取組みを進めた。

## エ 医療的ケアが必要な子どもに対する支援について

北九州地域医療的ケア児支援協議会を通じて、支援が必要な子どもの心身の状況や介護者の状況に応じた適切な支援が受けられるように関係機関との連携を図る。

また、地域における課題の整理や地域資源の開発等を行いながら、支援のための地域づくりを推進するとともに、関係機関と支援が必要な子どもやその家族をつなぎ、必要な支援を総合的に調整するコーディネーターを配置する。

(実施状況)

行政・医療・福祉間での情報交換をはじめ、介護負担の軽減(レスパイト)のための訪問看護費用の一部助成、総合療育センターへのコーディネーターを配置するとともに、災害時個別支援計画のモデルケースを作成した。

## 成果目標(8)発達障害のある人等に対する支援の充実・強化

令和5年度末までに発達障害のある子ども、発達障害のある人のライフステージを通して一貫した支援を実施する体制を構築すること目標とする。

(実施状況)

- ・令和3年度は3つの専門部会を立ち上げ、実態把握・特性評価・基本の手立ての普及・強度行動障害支援等について検討。
- ・発達障害者支援センターによる相談支援は、延べ3,885件と多くの利用者の悩みや不安の解決につなげることができた。
- ・家族支援のために、ペアレントトレーニング等の支援プログラムの充実を図り、広報・啓発を行い、受講者数を増やすよう努める。
- ・ペアレントメンターについては、見込みを上回る登録者数となり、増加している要請に対応した。